



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所 東
コード番号 4046 URL <https://www.osaka-soda.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）寺田 健志
問合せ先責任者 （役職名）執行役員管理本部長 （氏名）今村 徹 TEL 06-7733-1001
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	28,749	18.4	6,235	58.3	7,058	58.8	4,947	62.3
2026年3月期第1四半期	24,284	0.7	3,939	19.0	4,446	9.4	3,047	9.4

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 6,757百万円（105.8％） 2026年3月期第1四半期 3,283百万円（△13.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	40.49	—
2026年3月期第1四半期	24.22	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	170,999	130,448	76.3
2026年3月期	168,741	128,541	76.2

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 130,448百万円 2026年3月期 128,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	12.00	—	16.00	28.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	15.00	—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	54,000	10.6	10,300	27.0	11,200	25.7	7,600	12.5	62.40
通期	108,000	8.0	20,500	16.2	22,100	12.7	14,800	△4.3	121.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	133,660,085株	2026年3月期	133,660,085株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	12,361,260株	2026年3月期	10,808,065株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	122,172,299株	2026年3月期1Q	125,855,505株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に加え、個人消費や設備投資の持ち直しの動きなど緩やかな回復が続きました。一方で、中東情勢の影響等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、新中期経営計画「Transform Our Future 2030」（2026年～2030年度）を開始し、「既存事業の価値再構築とヘルスケア領域の成長加速」、「全社総力を結集して挑む新事業創出」、「事業環境の変化にシなやかに応える経営基盤の強靱化」の3つの基本方針に基づき、具体的な施策を実行しております。

「既存事業の価値再構築とヘルスケア領域の成長加速」においては、ポートフォリオ経営を推進し、既存事業の競争力強化とヘルスケア領域の成長加速に取り組んでおります。既存事業では、シェア拡大や代替需要の拡大により販売数量を伸ばすとともに、生産効率向上に向けた強靱化・コストダウン投資を進めることで競争力強化を図っております。ヘルスケア領域では、糖尿病治療薬や肥満治療薬向けに需要が拡大する医薬品精製材料において、2028年2月までに生産能力を現有の約2倍に引き上げるべく設備増強工事を計画通りに進めるとともに、中国やインドの後発参入国での販売拡大を図っております。

「全社総力を結集して挑む新事業創出」においては、コーポレート部門の知識・ネットワーク等の全社リソースを戦略的に活用しながら、「電子材料」や「ライフサイエンス材料」を中心に、独自技術を活かした新製品創出の推進に取り組んでおります。「電子材料」の分野では、全固体電池用高イオン伝導性材料を次なるグローバルニッチトップ製品と位置づけ、2030年の事業化に向けた取り組みを進めております。「ライフサイエンス材料」の分野では、QOL向上に貢献する材料の開発および事業化を目指し、Epsilon Molecular Engineering社の株式を一部取得することで、バイオ医薬品におけるVHH抗体分野の強化を図ってまいります。また、植物性乳酸菌OS-1010については、肌の弾力維持効果に関する機能性表示食品の届け出が受理されたことで、さらなる販売拡大に繋げてまいります。

「事業環境の変化にシなやかに応える経営基盤の強靱化」においては、「人事戦略」、「DX推進」、「安全・安定生産」、「リスクマネジメント」、「カーボンニュートラル」に関する施策を推進し、効率性と適応力を両立させた組織の実現を目指し、サステナビリティ経営の強化に取り組んでおります。また、ESG情報開示の充実に努めた結果、ESGスコアが改善しFTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に選定されました。引き続き、投資家をはじめとするステークホルダーからの信頼獲得に向けて取り組んでまいります。

なお、中東情勢の影響については、必要な原材料の確保に取り組むとともに、原燃料価格の上昇に対して適時に製品の価格改定を行い、影響の最小化を図っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、287億4千9百万円と前年同期比18.4%の増加となりました。利益面におきましては、営業利益は62億3千5百万円と前年同期比58.3%の増加、経常利益は70億5千8百万円と前年同期比58.8%の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億4千7百万円と前年同期比62.3%の増加となり、当第1四半期連結累計期間における売上高および各段階利益は過去最高を更新しました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

<基礎化学品>

クロール・アルカリは、塩酸や次亜塩素酸ソーダなどの販売数量増加や価格改定により、売上高は増加しました。

エピクロルヒドリンは、販売数量増加や価格改定により、売上高は増加しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は112億7千3百万円と前年同期比17.4%の増加となりました。

<機能化学品>

合成ゴムでは、価格改定に加えて、アクリルゴムは自動車・二輪生産が好調なインド向け中心に販売数量が増加し、エピクロルヒドリンゴムは中国向け中心に顧客での在庫積み増しの影響もあり販売数量が増加したことで、売上高は増加しました。

合成樹脂では、ダップ樹脂は中国向け中心に顧客での在庫積み増しの影響もあり販売数量が増加したことや価格改定により、売上高は増加しました。

アリルエーテル類では、販売数量は減少しましたが中国市況の高騰もあり、売上高は増加しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は82億7千6百万円と前年同期比17.5%の増加となりました。

<ヘルスケア>

医薬品精製材料は、糖尿病治療薬や肥満治療薬向けの需要が順調に拡大し、売上高は増加しました。

医薬品原薬・中間体は、不眠症治療薬中間体、肺結核治療薬原薬および抗潰瘍薬中間体の販売が拡大したため、売上高は増加しました。

以上の結果、ヘルスケアの売上高は43億8千万円と前年同期比43.3%の増加となりました。

<商社部門ほか>

無機薬品やガラス繊維の販売が増加したため、売上高は増加しました。

以上の結果、商社部門ほかの売上高は48億1千8百万円と前年同期比5.2%の増加となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、1.5%減少し967億3千8百万円となりました。これは、主として現金及び預金が63億9千6百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、5.3%増加し742億6千1百万円となりました。これは、主として投資有価証券が26億4千8百万円増加、建設仮勘定が5億3千5百万円増加したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、1.3%増加し1,709億9千9百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、2.2%減少し308億5千2百万円となりました。これは、主として未払法人税等が21億1千5百万円減少、賞与引当金が4億5千5百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、12.1%増加し96億9千8百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が11億3百万円増加したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて、0.9%増加し405億5千万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、1.5%増加し1,304億4千8百万円となりました。これは主として、自己株式の取得により自己株式が28億8千4百万円増加、利益剰余金が29億8千1百万円増加、その他有価証券評価差額金が17億8千1百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の第2四半期（累計）および通期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2026年5月12日公表の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2026年8月7日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,855	15,459
受取手形、売掛金及び契約資産	26,466	29,651
電子記録債権	3,470	3,514
有価証券	26,946	26,939
商品及び製品	10,994	12,626
仕掛品	1,746	1,786
原材料及び貯蔵品	5,088	4,984
その他	1,690	1,795
貸倒引当金	△7	△19
流動資産合計	98,250	96,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,430	9,350
機械装置及び運搬具（純額）	14,118	15,034
土地	2,242	2,152
リース資産（純額）	480	460
建設仮勘定	3,136	3,671
その他（純額）	533	545
有形固定資産合計	29,941	31,215
無形固定資産		
のれん	73	62
ソフトウェア	2,266	2,185
その他	30	35
無形固定資産合計	2,370	2,283
投資その他の資産		
投資有価証券	37,025	39,673
長期貸付金	6	6
繰延税金資産	223	147
その他	1,500	1,513
貸倒引当金	△577	△577
投資その他の資産合計	38,178	40,762
固定資産合計	70,490	74,261
資産合計	168,741	170,999

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,869	15,865
短期借入金	7,172	7,172
未払法人税等	4,108	1,992
賞与引当金	972	517
その他	5,424	5,304
流動負債合計	31,547	30,852
固定負債		
リース債務	554	528
繰延税金負債	5,999	7,102
退職給付に係る負債	653	631
資産除去債務	658	658
その他	785	777
固定負債合計	8,652	9,698
負債合計	40,199	40,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,871	15,871
資本剰余金	17,026	17,026
利益剰余金	88,849	91,831
自己株式	△12,405	△15,290
株主資本合計	109,342	109,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,572	19,354
繰延ヘッジ損益	79	58
為替換算調整勘定	669	732
退職給付に係る調整累計額	877	864
その他の包括利益累計額合計	19,199	21,009
純資産合計	128,541	130,448
負債純資産合計	168,741	170,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	24,284	28,749
売上原価	16,501	18,232
売上総利益	7,782	10,516
販売費及び一般管理費	3,842	4,281
営業利益	3,939	6,235
営業外収益		
受取利息	42	68
受取配当金	580	572
持分法による投資利益	5	7
為替差益	—	122
補助金収入	56	73
その他	47	45
営業外収益合計	731	890
営業外費用		
支払利息	45	41
為替差損	167	—
その他	12	25
営業外費用合計	225	66
経常利益	4,446	7,058
特別利益		
固定資産売却益	—	118
特別利益合計	—	118
特別損失		
固定資産除却損	48	85
特別損失合計	48	85
税金等調整前四半期純利益	4,397	7,092
法人税、住民税及び事業税	1,050	1,784
法人税等調整額	299	360
法人税等合計	1,350	2,144
四半期純利益	3,047	4,947
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,047	4,947

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	3,047	4,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	1,781
繰延ヘッジ損益	△22	△21
為替換算調整勘定	267	42
退職給付に係る調整額	△8	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	20
その他の包括利益合計	236	1,810
四半期包括利益	3,283	6,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,285	6,757
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,553,100株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,884百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が15,290百万円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,023百万円	1,222百万円
のれんの償却額	11百万円	11百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	ヘルスケア	商社部門ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高							
日本	8,441	1,935	697	4,153	15,228	—	15,228
中国	—	2,233	435	283	2,951	—	2,951
アジア	827	1,255	788	85	2,957	—	2,957
欧州	167	909	861	48	1,987	—	1,987
その他地域	168	711	272	6	1,159	—	1,159
顧客との契約 から生じる収益	9,604	7,044	3,056	4,578	24,284	—	24,284
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,604	7,044	3,056	4,578	24,284	—	24,284
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	207	—	921	1,131	△1,131	—
計	9,607	7,252	3,056	5,499	25,415	△1,131	24,284
セグメント利益	1,232	1,042	1,676	323	4,275	△335	3,939

(注) 1 セグメント利益の調整額△335百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	ヘルスケア	商社部門ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高							
日本	9,309	2,217	1,038	4,306	16,871	—	16,871
中国	—	3,001	716	385	4,103	—	4,103
アジア	1,707	1,444	764	122	4,038	—	4,038
欧州	163	886	1,469	—	2,519	—	2,519
その他地域	93	726	390	5	1,216	—	1,216
顧客との契約 から生じる収益	11,273	8,276	4,380	4,818	28,749	—	28,749
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,273	8,276	4,380	4,818	28,749	—	28,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	231	—	391	623	△623	—
計	11,274	8,507	4,380	5,210	29,372	△623	28,749
セグメント利益	1,641	2,438	2,152	322	6,554	△319	6,235

(注) 1 セグメント利益の調整額△319百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。